

2026年度豊岡市地域づくり懇談会

地域が変わると、暮らしが変わる

作野広和

島根大学教育学部教授
豊岡市地域コミュニティアドバイザー



必要があればお声がけ下さい！

全国の地域にアドバイスや協働活動（伴走型支援）を展開しております。

自治体単位，地区単位，集落単位の地域づくりのお手伝いをしております。

単発の講演会・研修会のご依頼も遠慮なくご相談下さい。

メール：hsakuno@edu.shimane-u.ac.jp

電話：0852-32-6107／090-2006-9162

I はじめに

教育 研究

： 島根大学教育学部社会科教育専攻（地理学担当）
： 集落・コミュニティに関する研究（特に、地域運営組織）



作野広和 研究・活動

■ 県レベルの中山間地域振興

- ・奈良県（翠山大学設立準備） ★ 共同研究
- ・兵庫県（地域再生アドバイザー） ★★ 科研
- ・広島県（中山間地域集落のあり方）

■ 市町村レベルの中山間地域振興（1 共同研究）

- ・島根県益田市（20地区） 中山間地域振興計画の策定
- ・鳥取県南部町（7地区） 地域のあり方検討
- ・広島県神石高原町（4地区） ★ 地域のあり方検討

■ 地域コミュニティの再構築（4 共同研究）

- ・兵庫県豊岡市（29地区，地域コミュニティアドバイザー） ★
- ・兵庫県佐用町（13地区，地域づくりアドバイザー）「さようボ」★
- ・広島県広島市（140地区，広島型地域運営組織ひろしまLMO）
- ・島根県出雲市佐田町（2地区）……「さだうボ」
- ・島根県飯南町（5地区，地域づくりアドバイザー）「飯南うボ」★
- ・島根県邑南町（12地区，顧問）……「邑南うボ」 ★

■ 持続可能な地域づくりの推進

- ・島根県大田市（馬路地区）
- ・島根県江津市…「松平うボ」
- ・島根県奥出雲町（たたら文化的景観）…「奥出雲うボ」

■ 高校魅力化（4校）

- ・島根県立矢上高校（地域との協働事業）
- ・島根県立飯南高校（「生命地域学」の継続）
- ・鳥取県立米子西高校（みらいチャレンジの継続）
- ・鳥取県立日野高校（魅力向上）

■ 高校持続・公設塾

- ・中国地方・島根県における高校の持続・公設塾に関する研究

■ 公営塾・教育再生・人づくり（3地域）

- ・鳥取県日野郡まなびの推進局（日野町・日南町・江府町）
- ・保・小・中一貫教育プログラム「日南学」の推進（日南町）
- ・「人づくり」と「地域づくり」の一体的取り組み（益田市）

■ 学校配置・あり方・再編（5市町）

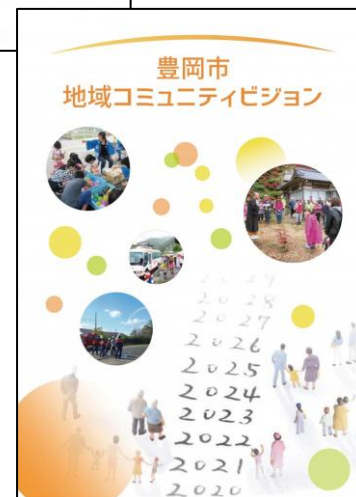
- ・島根県安来市（5中学校・17小学校）答申済
- ・島根県飯南町（2中学校・4小学校）答申済
- ・島根県川本町（1中学校・1小学校）答申済
- ・島根県邑南町（3中学校・8小学校）
- ・広島県庄原市高野町（1中学校・1小学校）

■ 学校経営（2校園）

- ・教育学部附属学校部長（附属幼稚園，附属義務教育学校）

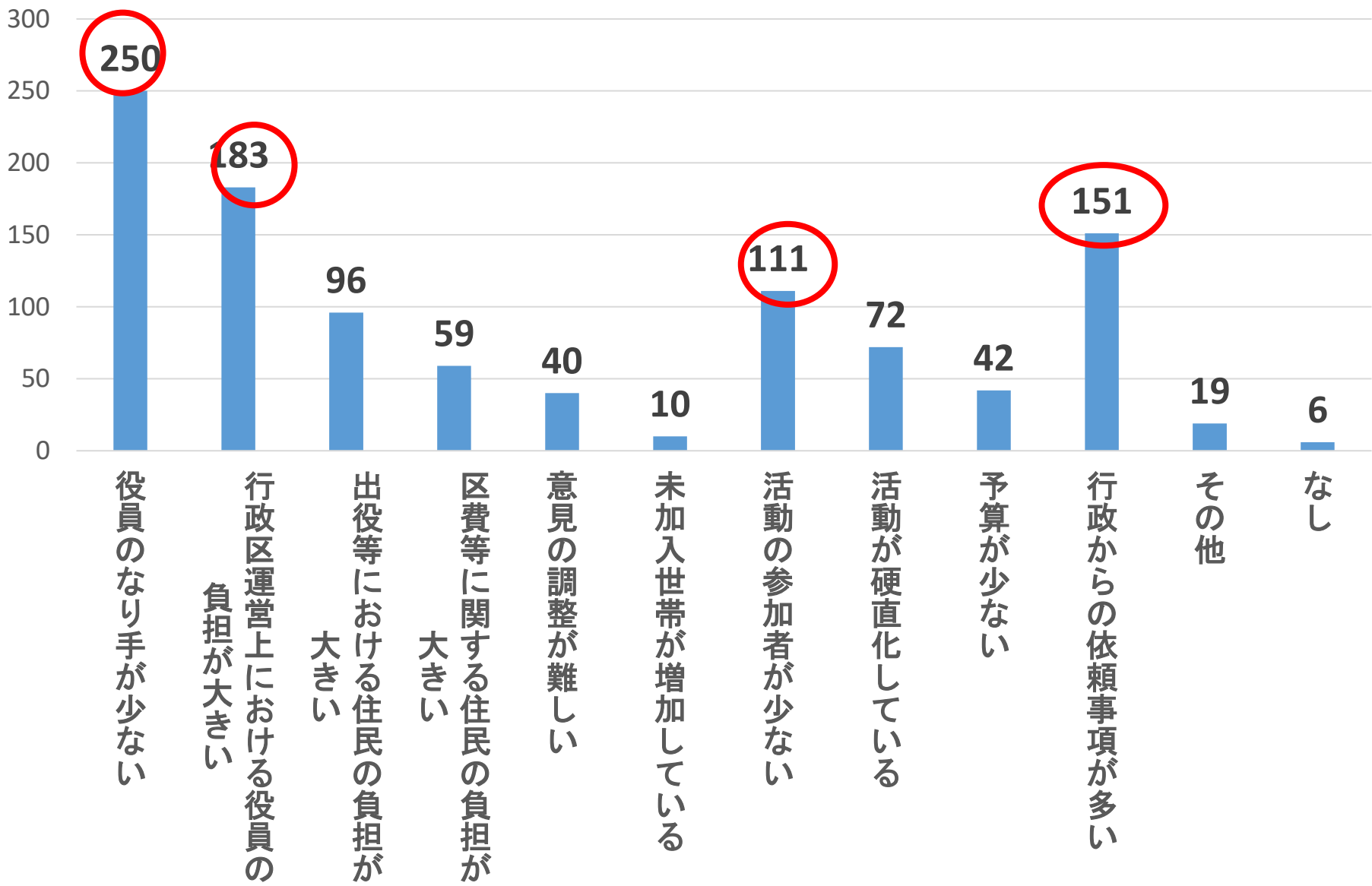
豊岡市における取り組み

- 1年目 2011（平成23）年度 但東町資母・合橋・高橋地区への関わり（一部過疎）
- 2年目 2012（平成24）年度 但東町資母・合橋・高橋地区への関わり（一部過疎）
- 3年目 2013（平成25）年度 新しい地域コミュニティのあり方検討委員会設置
- 4年目 2014（平成26）年度 「新しい地域コミュニティのあり方方針」策定（モデル地区1年目）
- 5年目 2015（平成27）年度 地域コミュニティ政策推進会議設置（モデル地区2年目）
- 6年目 2016（平成28）年度 地域コミュニティ政策推進会議継続（モデル地区3年目）
- 7年目 2017（平成29）年度 地域コミュニティ組織設立（全29地区）
- 8年目 2018（平成30）年度 地域コミュニティビジョン策定委員会設置
- 9年目 2019（令和1）年度 「地域コミュニティビジョン」策定
- 10年目 2020（令和2）年度 地域づくり戦略会議設置・中間支援組織設立・地域づくり職員ネットワーク設置
- 11年目 2021（令和3）年度 「支えあう地域のしくみを考えるアンケート調査」の実施
- 12年目 2022（令和4）年度 「支えあう地域のしくみを考えるアンケート調査」報告会の実施
- 13年目 2023（令和5）年度 「地域コミュニティチェックシート」試行
- 14年目 2024（令和6）年度 全地区訪問（2巡目）
- 15年目 2025（令和7）年度 共同研究 行政区に対する調査
- 16年目 2026（令和8）年度



Ⅱ 行政区の課題

行政区の課題について（複数回答）



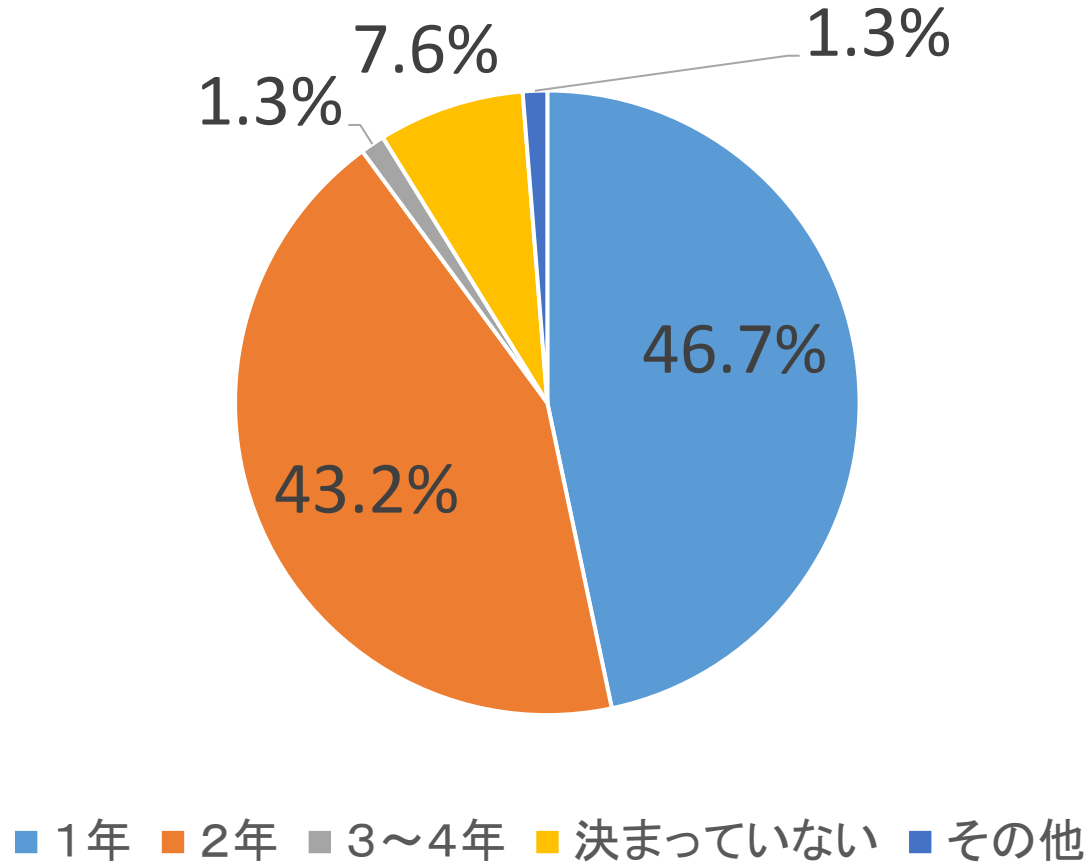
○行政からの依頼事項が多い等、役員の負担が大きいことになり手が少ない要因につながっているように捉えられる。

○活動の硬直化、マンネリ化が参加者の減少につながっている可能性あり。

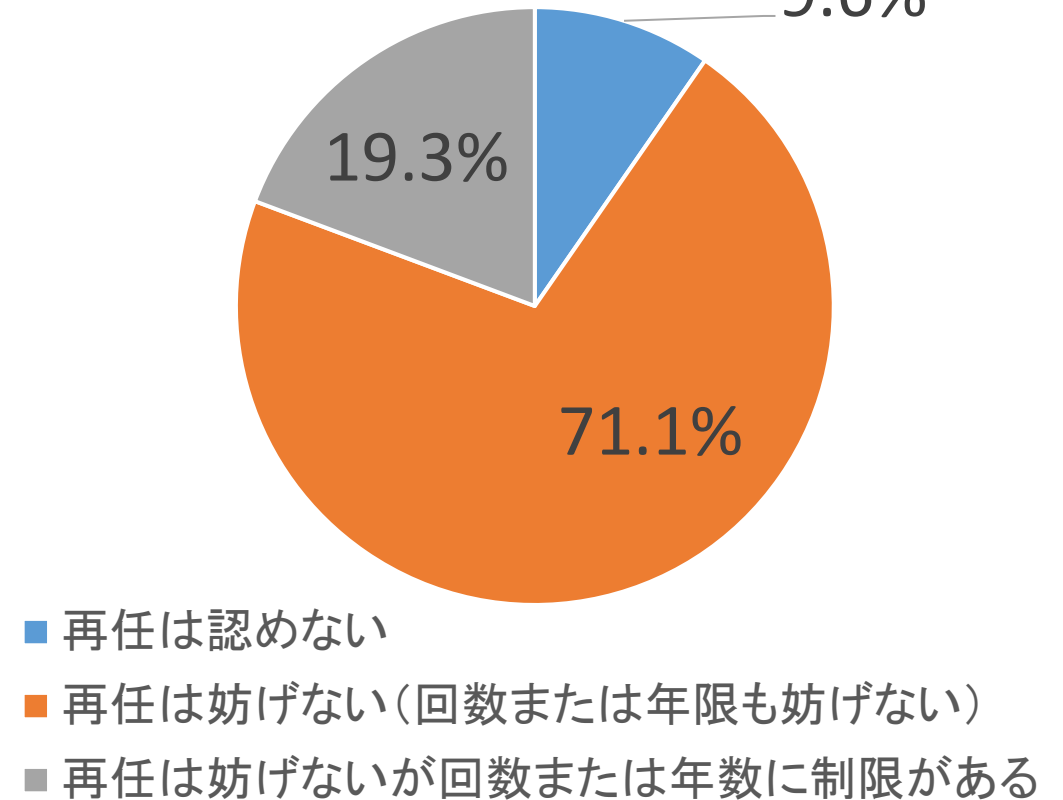
○少数ながら、行政区における課題がないと回答する行政区もあり。

区長・町内会長の任期・再任等の取扱い

・区長・町内会長の任期



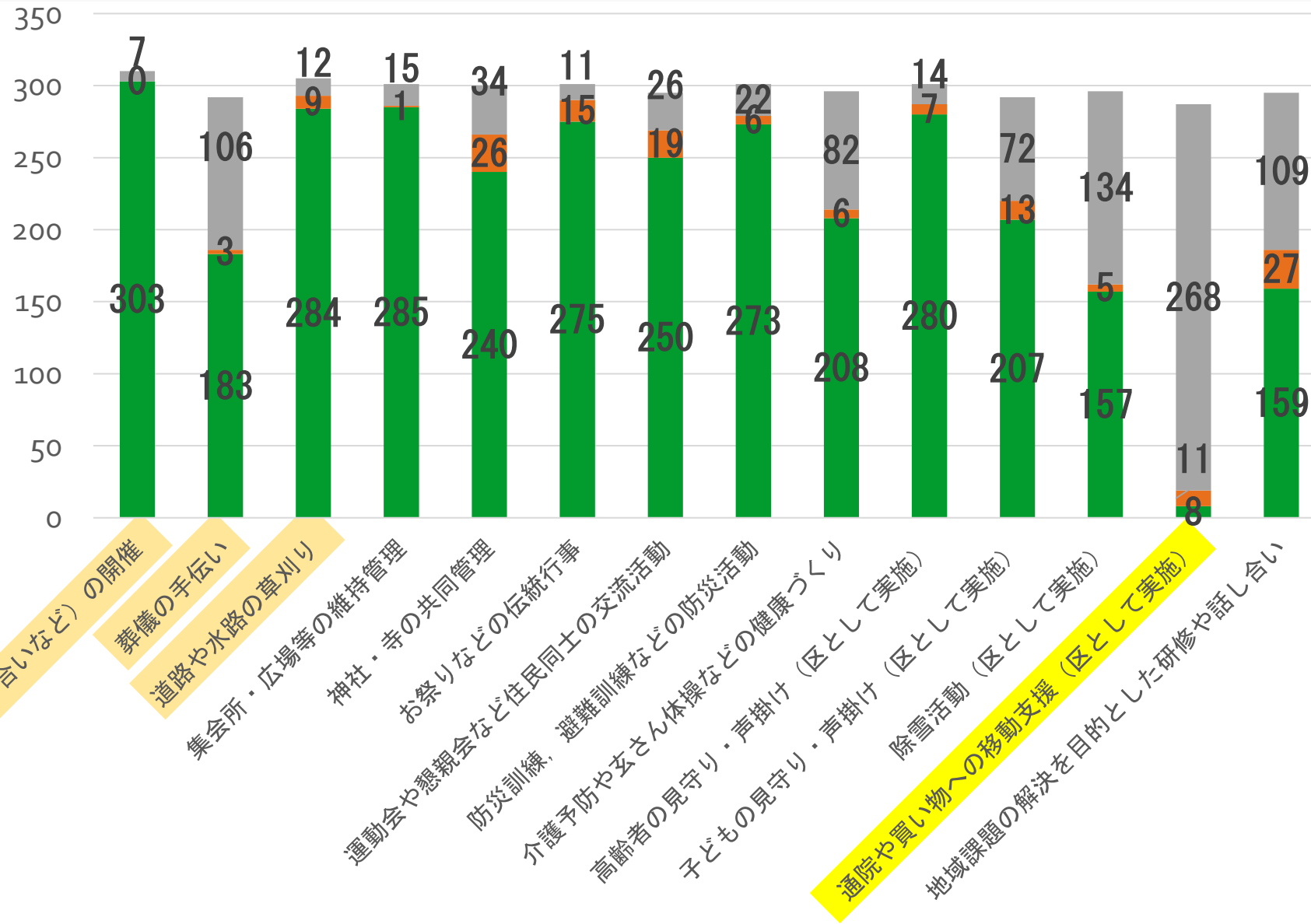
・区長・町内会長の再任等の取扱い



・ 任期が **1～2年** で短い

・ 任期を短縮し、再任を妨げないことで担い手不足に対応 ⇒ **対症療法**

行政区の活動内容について



■ 活動している ■ 隣接する行政区等と共同で活動している ■ 活動していない

○基本的な集落機能を有している。

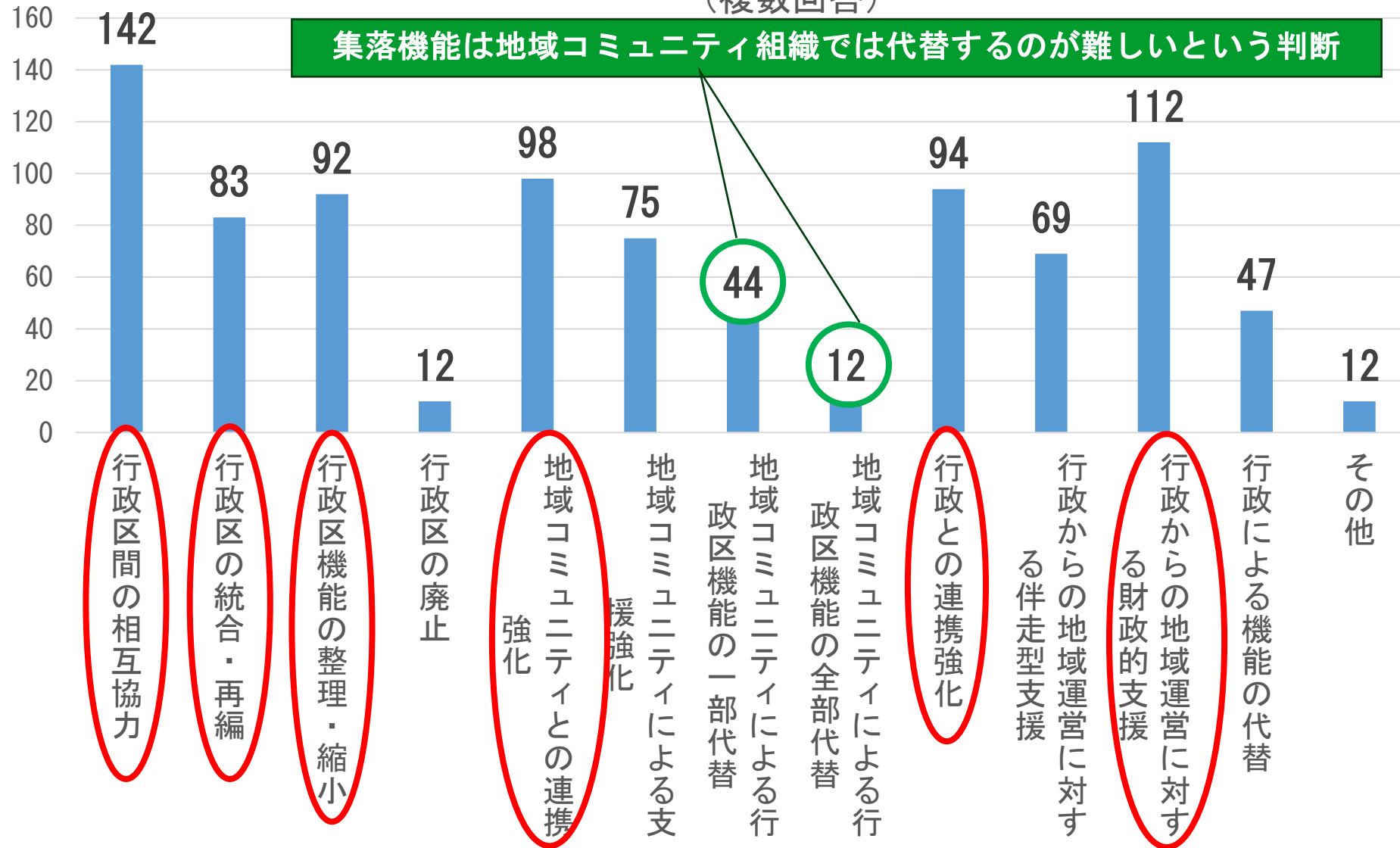
- ・生産補完機能
- ・資源管理機能
- ・生活扶助機能

○ほとんどの行政区で常会や寄り合いが定期的に開催されている。

○「通院や買い物への移動支援」を実施している行政区は少ない。

行政区の機能・活動を継続していく上で必要と思われるものについて (複数回答)

・行政区の機能・活動を継続していく上で必要と思われるものについて
(複数回答)



○「行政区間の相互協力」が最も多い。「行政区機能の整理・縮小」や「行政区の統合・再編」についても注目できる。

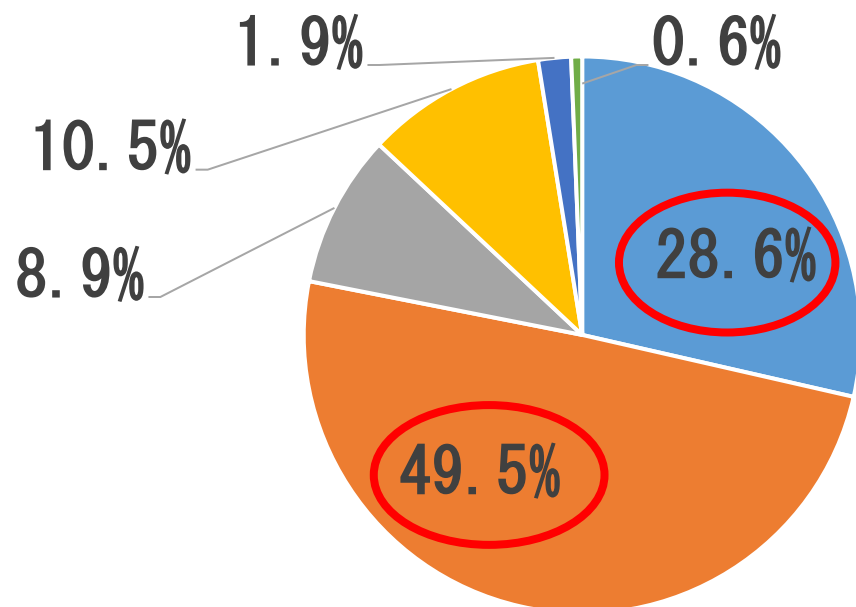
⇒**水平連携による課題解決**

○地域コミュニティ組織や行政との連携・支援強化も多く、単一行政区だけでは住民自治・課題解決は難しく、協力が必要であると感じる行政区が多い。

⇒**垂直連携による課題解決**

地域コミュニティ組織について

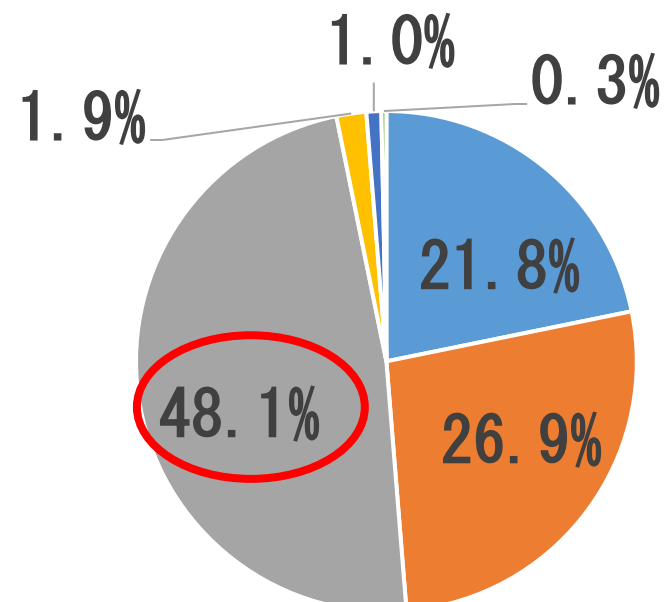
・地域コミュニティ組織について



- 地域コミュニティはととても重要な存在である
- 地域コミュニティの存在意義はある
- 地域コミュニティのことがよくわからない
- 地域コミュニティの存在意義が見いだせない
- 地域コミュニティはない方がよい
- その他

行政区と地域コミュニティ組織との関係について

・行政区と地域コミュニティ組織との関係



- 地域コミュニティと強く関わっている
- 地域コミュニティとある程度関わっている
- 地域コミュニティから依頼に応じて関わっている
- 世帯・個人単位で関わっている
- 地域コミュニティ組織とは全く関わっていない
- その他

○地域コミュニティ組織の存在をある程度認めつつも、より地縁的な行政区の方を重要視していると考えられる。

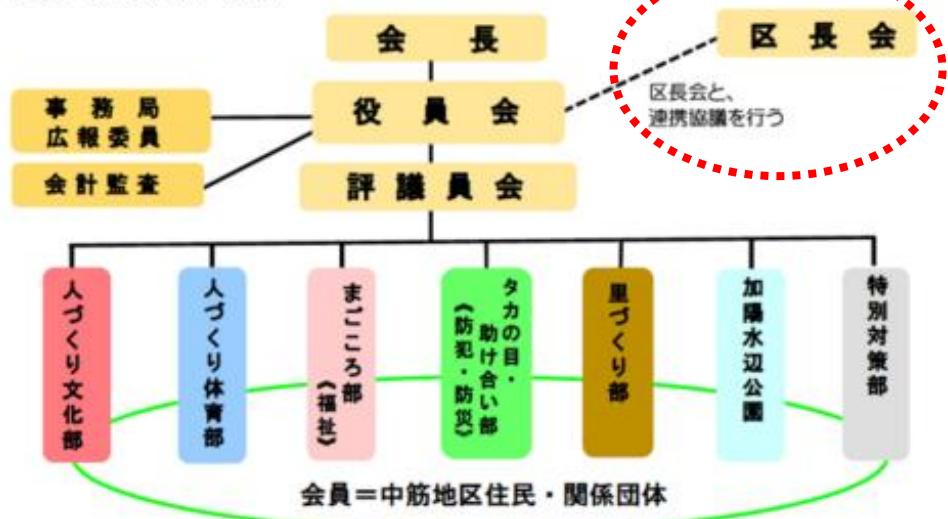
○行政区から地域コミュニティ組織への関わりが少ない

⇒ 行政区は地域コミュニティ組織との関わりについて受動的に対応

Ⅲ 行政区を補完する地域コミュニティ（地域運営組織）

行政区と地域コミュニティ（地域運営組織）の補完関係

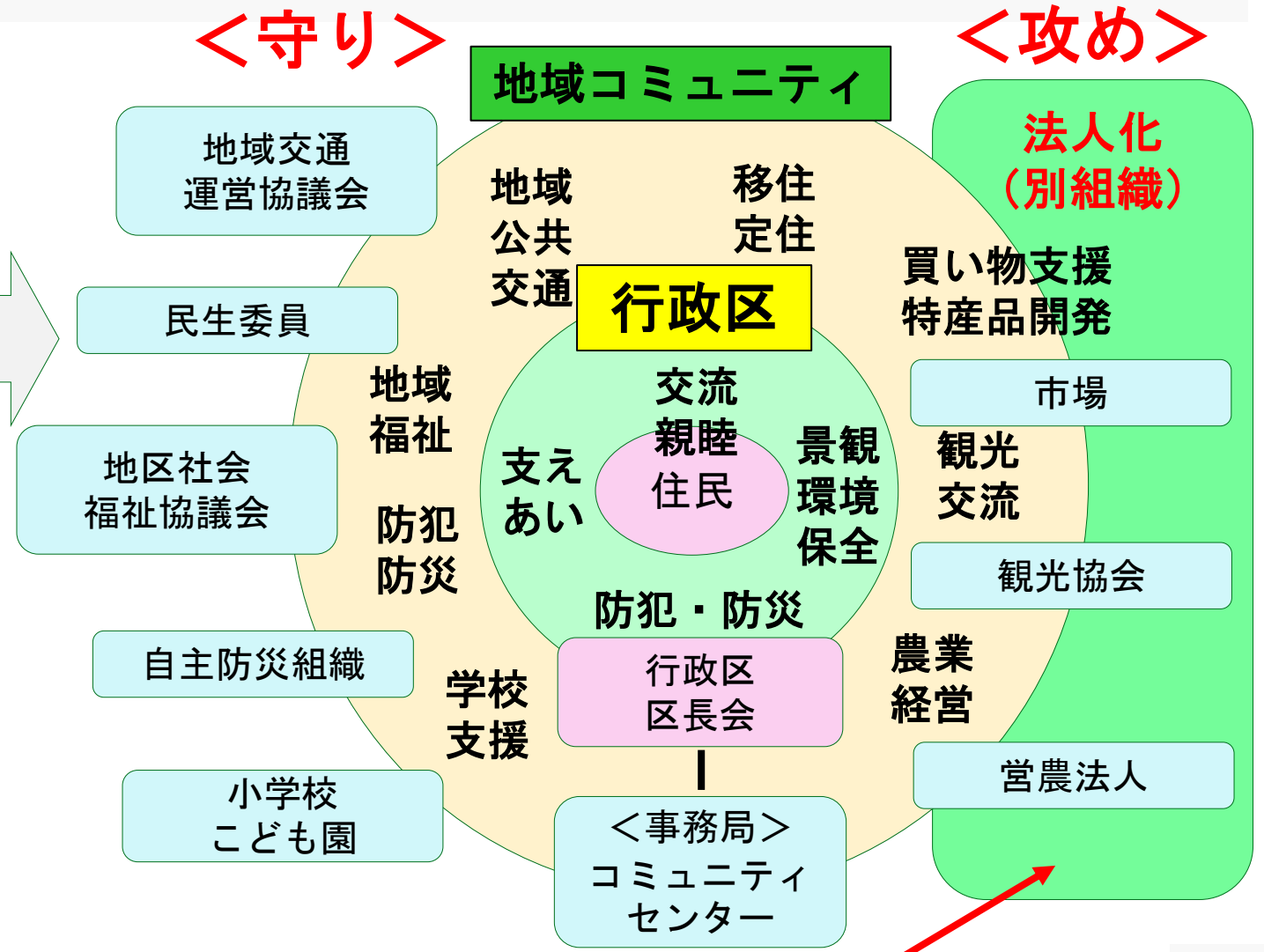
コミュニティなかすじ 組織図



区長会との違いがわからん

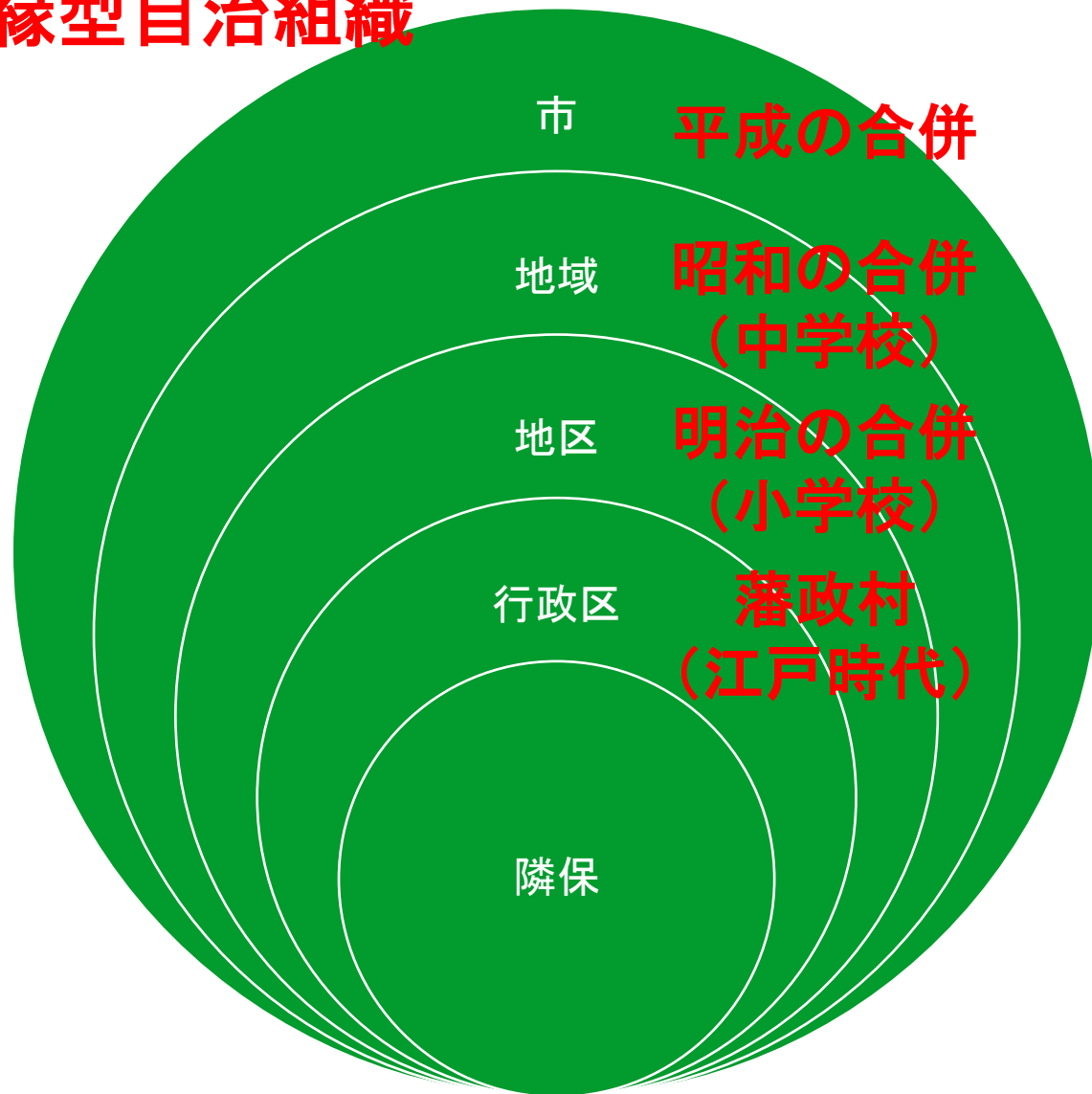
区のことでも精一杯なのに
地区のことまで手が回らん

そもそも、何でわしらが
やらんといけんのだ



住民合意の外出し「実行組織」(法人)
を設置することもできる

地緣型自治組織



『部落会 町内会等の組織と其の運営』（自治館、一九四〇）より

11

世帯（自助）・地縁的組織（互助）を補完する共助組織

公助
(公共)

公共サービス

民間サービス

市場

共助
(協働)

地域コミュニティ（地域運営組織）

人

互助
(ムラ)

自助
(イエ)

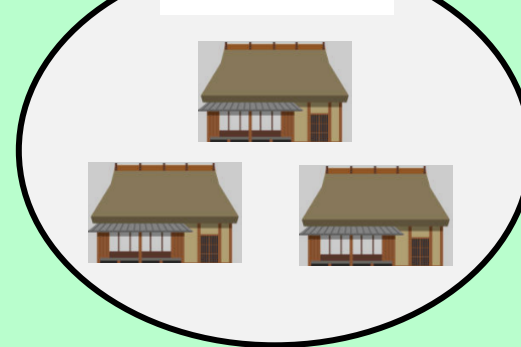
行政区



行政区



行政区



イエ
(世帯)

財政危機と並走する「人的リソース」の深刻な枯渇



単身世帯の急増と不安

(ID:11) 「私を含め、一人ぐらし世帯が増えていることが大変不安」 — 互助の基盤となる家族単位の縮小。



担い手不在と短期任期の弊害

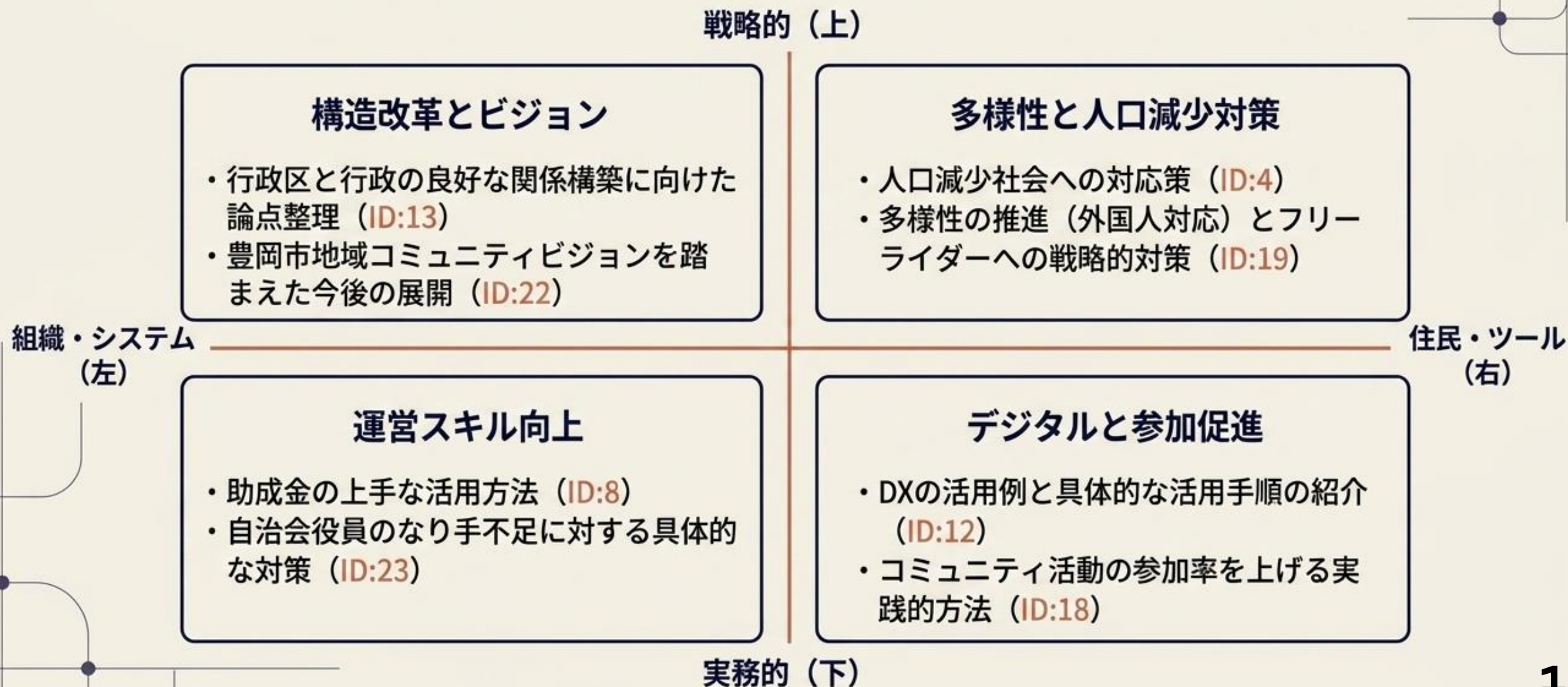
(ID:18, 22) 「役員のなり手が無い」 「区長は1～2年で交代するため、永続する地域課題への取り組みが困難」 — 知識とモチベーションの断絶。



フリーライダーと無関心層

(ID:18, 19, 23) 「自分に関係無い面倒な事にに関わりたくない人が多い」 「フリーライダー対策が必要」 — 自治会活動への参加意識の二極化と負担の偏り。

現場が求める次なる一手：将来の研修テーマ・マトリクス



(2025年度豊岡市区長連合会研修アンケート結果のNotebookMLによる分析)

IV 鳥取県南部町における「地域のあり方」改革

鳥取県南部町：地域づくり懇談会



地域づくり懇談会2026

日時：令和8年7月1日（水）
19：00から20：30

申し込み不要

会場：おおくに田園スクエア 南部町原868番地4

この懇談会は、地域のすべての方が対象です。
人口減少や高齢化が進む中で、南部町の地域づくりは、
集落に寄り添う姿が求められています。
これからの地域の未来について考えてみませんか。

1 趣旨説明

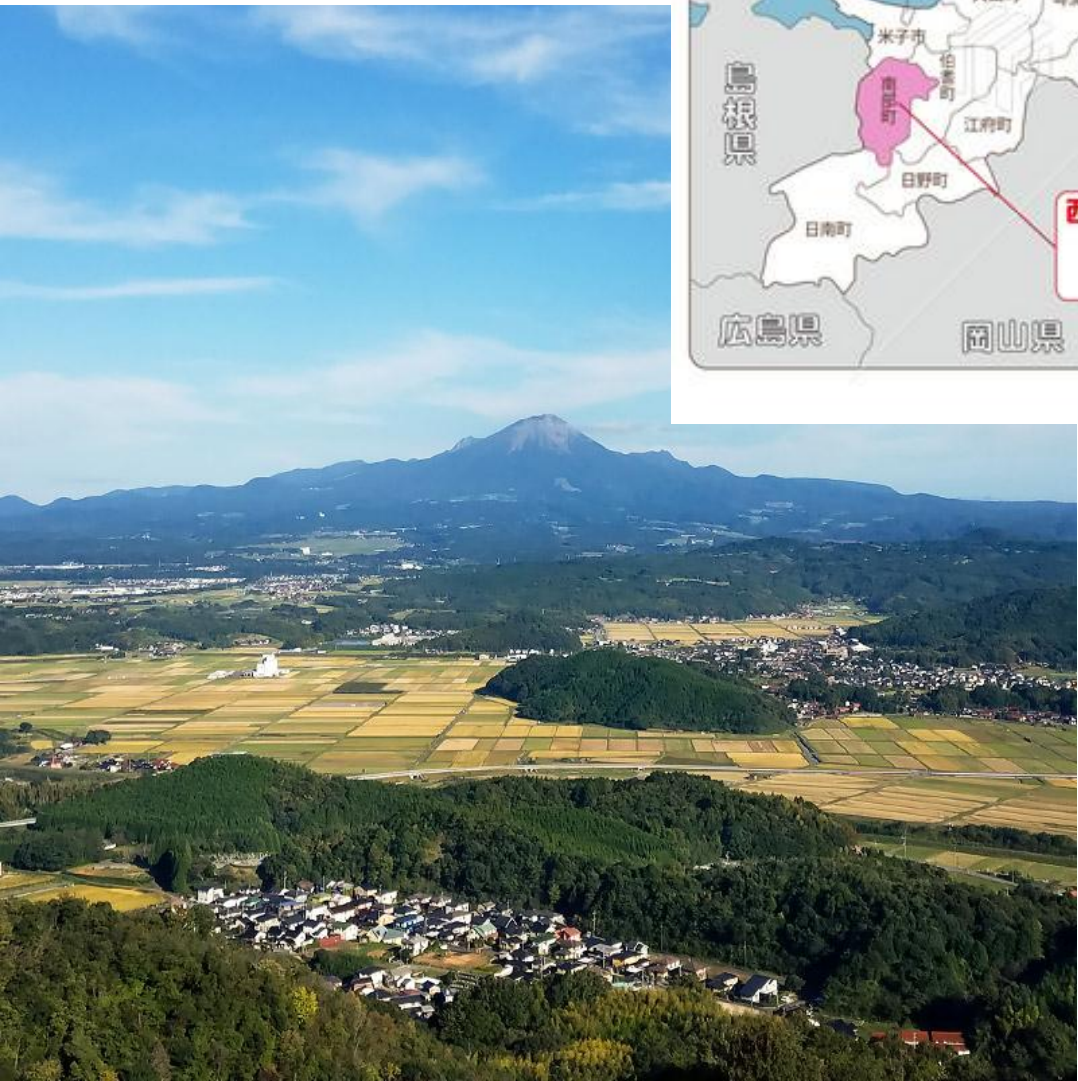
2 話題提供「南部町における集落の現状と課題」
南部町地域づくりアドバイザー
島根大学 教育学部 教授 作野広和 氏

3 意見交換

1968年島根県松江市生まれ。島根大学准教授を経て、2014年から現職。2024年度より島根大学教育学部付属学校部長。総務省過疎問題懇談会構成員、農林水産省鳥獣害対策アドバイザー、島根県中山間地域研究センター客員研修員などを歴任。



問い合わせ先：南部町未来を創る課 電話 46-0870（キナルなんぷ内）



pixta.jp - 107280361

現状の課題：迫り来る人口減少と「支え合い」の限界

迫り来る人口減少



空き家の増加

1

「元の213名中、
20年後には4割
がいなくなる」

2

「11軒で32名。
後期高齢者ばかりで
協議会の役員選出も困難」

3

「独居、空き家、
単身世帯の増加」

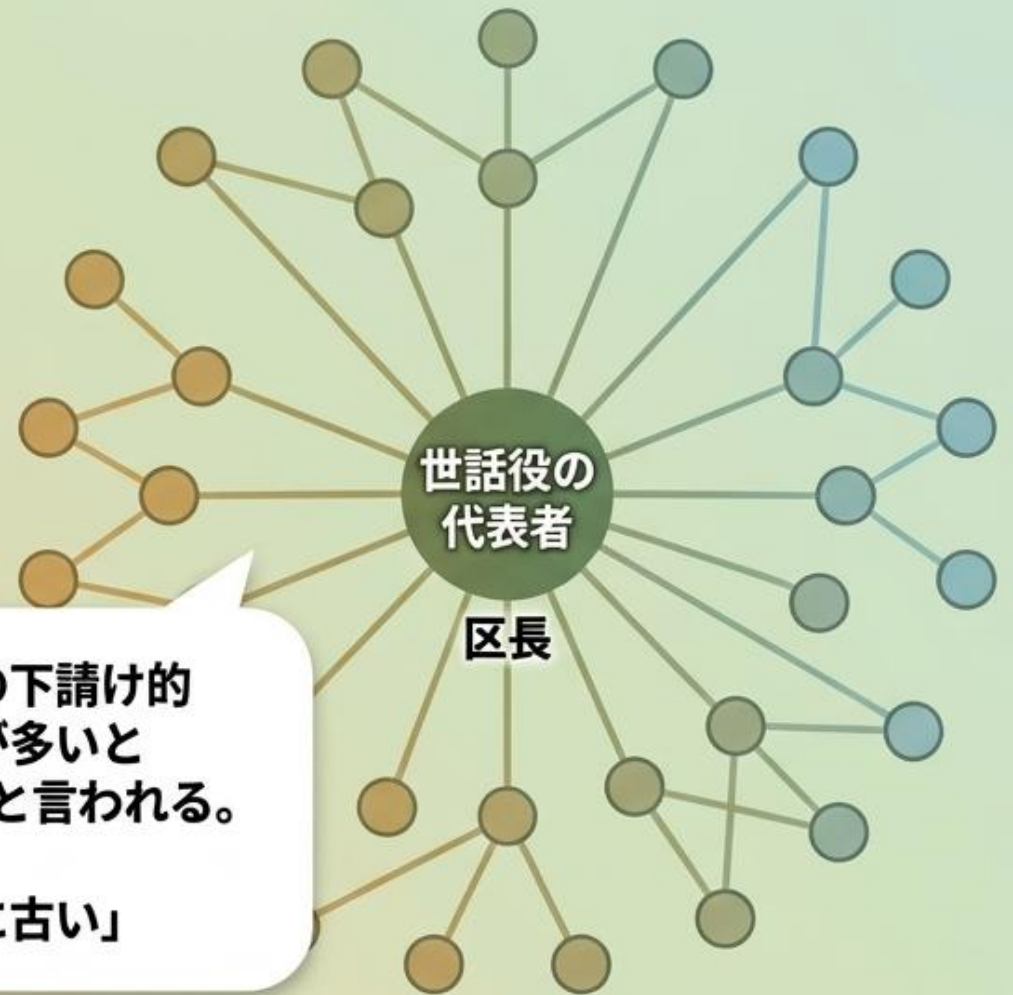
過去の「助け合い」の仕組みのままでは、現在の大きな課題
(防災・福祉・草刈り)を解決することは困難になっています。

構造的なきしみ：「区長」という役割の重圧



「昔の区長は
世話役の代表者。
今の区長は
下子(小間使い)
のイメージ」

「行政の下請け的
色合いが多いと
『区長』と言われる。
体制的に古い」



世代間の意識ギャップ：なぜ若い世代は参加しないのか？

〔上の世代〕

〔若い世代〕

参加の
動機



伝統と慣習
（「昔から決まっている」）



個人の納得感
（「なぜ出ないといけないか？」
「必要を感じない」）

集まり方の
スタイル



頻繁な飲み会・
全体集会



自分の都合・家族単位
（「子どもとのふれあいなら参加」）

義務・作業
への意識



集落優先・
無条件の参加



タイパ重視・理由なき作業の忌避
（「ゴミ出し時間への不満」
「草刈りへの不参加」）

これは「若者の怠慢」ではなく「価値観のシフト」です。
昔ながらの誘い方では、響かなくなっています。

これからの集落のエンジン：「義務」から「楽しさ」へのシフト

旧エンジン【義務と慣習】

- ・しがらみ、強制、作業としての活動
- ・結果：「負担増・後継者不足」

新エンジン【楽しさと体験】

- ・交流、学び、体験としての活動

「やるからには、
まず自分たちが楽しむこと」
(山口氏)

「出ると楽しいという
ことが伝わるといい」
(田辺氏)

地域の活動を持続させる鍵は、「しなければならぬ」を
「参加すると楽しい」に変換する仕組みづくりです。

次世代を巻き込むステップ：若者の参加モデル

興味・接点

バーベキューや防災訓練など
「子どもと一緒に楽しめる」
「いろんな人の話が聞ける」イ
ベントから入る。

経験・指導

「PTAの先輩に草刈りのやり方を教え
てもらおう」など、講習やサポートを通
じて不安を取り除く。(田辺氏の提案)

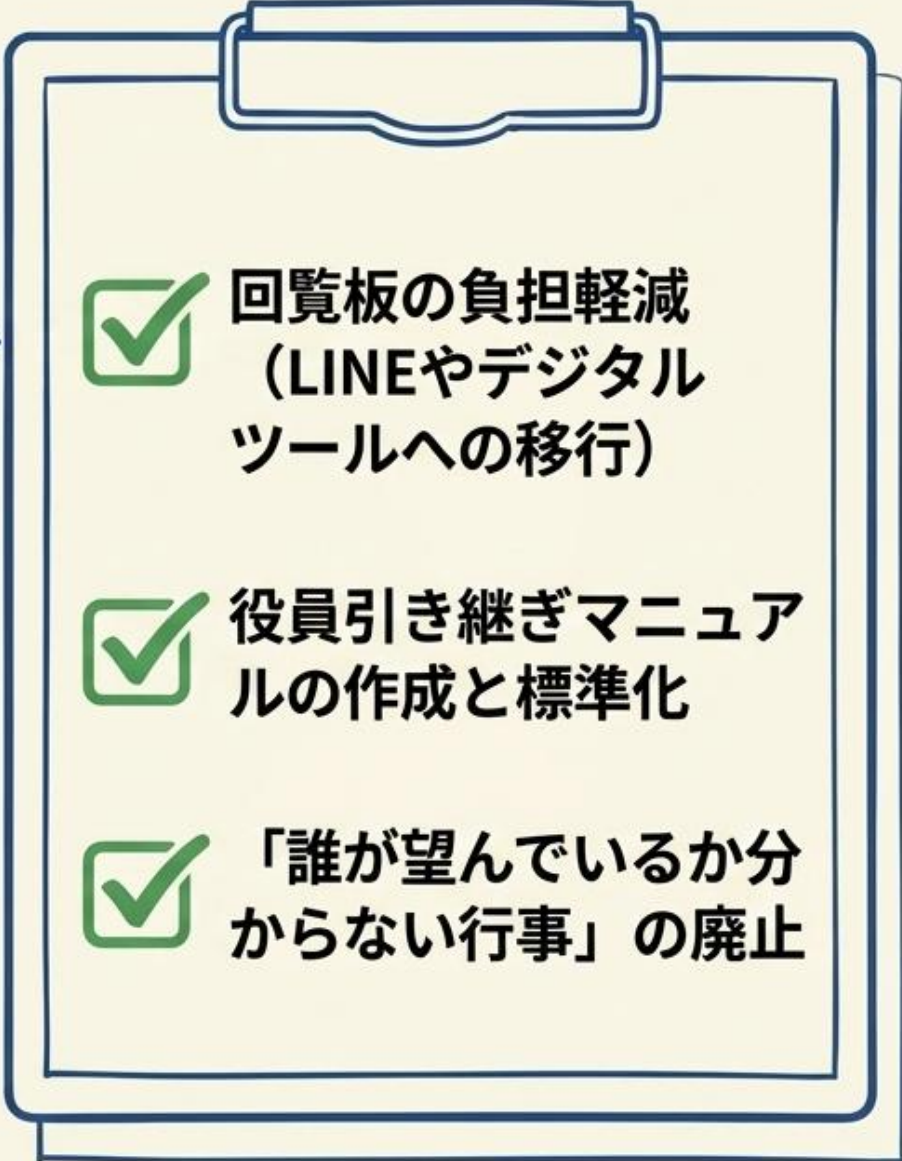
委任

「若い人が興味を持つか？ 任せて
みるとやってくれる。経験させると
よい」(加納氏の意見)。小さな班
長などの役割を思い切って任せる。

いきなり重い「役員」をお願いするのではなく、
楽しさと学びを通じたステップアップが必要です。

STEP 1：負担を削る（まずは「例年通り」を疑う）

「私たちが目指すのは……
ヒマじゃない人のための町
内会。まずは『例年ど』を
疑うこと。外からの業務依頼は
ふるいにかかけ、必要なもの
だけを残すこと。」

- 
- ✓ 回覧板の負担軽減
（LINEやデジタル
ツールへの移行）
 - ✓ 役員引き継ぎマニユア
ルの作成と標準化
 - ✓ 「誰が望んでいるか分
からない行事」の廃止

STEP 2：話し合いのフォーマットを変える

古い会議の脱却

~~✕ アルコール~~ ~~✕ 携帯電話~~ ~~✕ 一部の人の長い話~~

「中高年男性が得意なやり方」から、
「誰もが参加しやすい標準化」へ。

新しい対話のツール



- ✓ ホワイトボードの徹底活用（意見を可視化する）
- ✓ 50歳以下のミライカイギ（若者主体の意思決定）
- ✓ 否定のないポジティブな空気づくり

鳥取県南部町坂根区の地域運営見直し

1 経緯

副区長の任期が令和8年3月31日に満了なることに際し、次期、副区長の人選が難航し、初寄合（令和8年3月開催）で、区長により現状報告、検討会の立ち上げについて提案あり（⇒了承）

※区長、副区長の任期：2年

区長と副区長の任期を1年ずらし、
集落運営を行っている

副区長は、前年度に多面的機能支払団体
（坂根活動組織）の会長

坂根活動組織の会長は、
坂根農事実行組合の組合長になっていた。



2 見直し案

○意図：現在の仕事の棚卸 ⇒ 再編成
区長の仕事の分散化

○きっかけ：役目に入っていない人の存在
（見えない不公平感）

○考察

・自分たち（の課題）ことは、自分たちで決めている
→住民自治の原点

〈役目型〉

区長

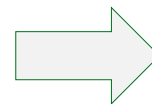


副区長



・各種委員（行政関係、地域関係）

・各種組織（農業、神社）



〈グループ運営型〉

区長



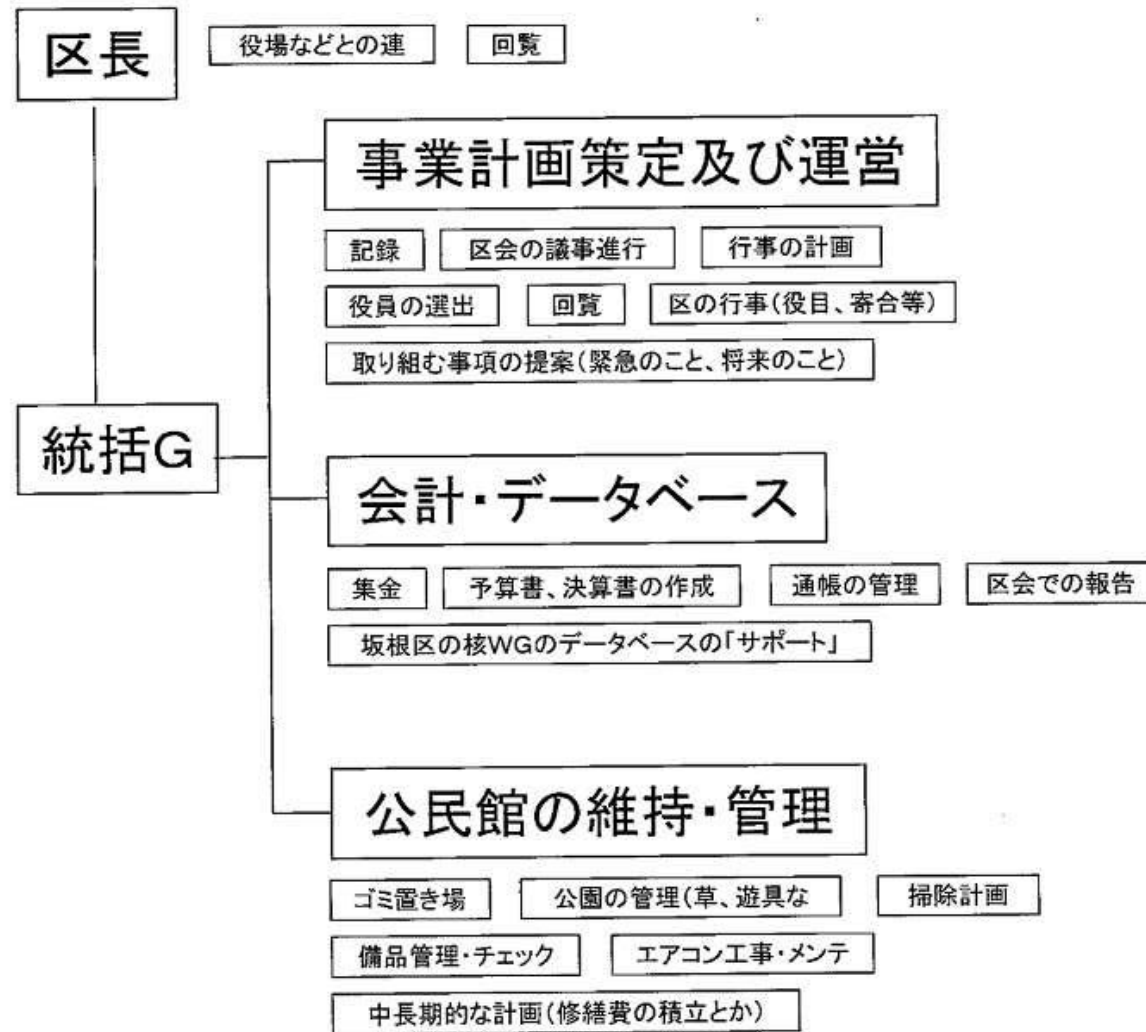
○運営ワーキンググループ

○会計、データ処理グループ

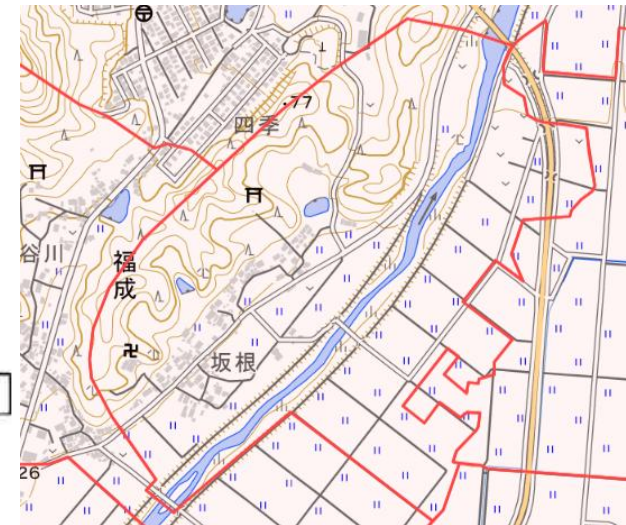
○研修グループ

○△△グループ

鳥取県南部町坂根区の地域運営見直し：全世帯が1役以上を担う



- 天津地域振興協議会役員
- 地域福祉委員
- いきいきサロン
- 100歳体操
- 班長
- 防災
- 人材育成(次期役員の育成)
- 運動会
- あまつ祭り
- 敬老会
- 世代間交流
- とんどさん
- 宅神敬祭
- 除雪
- 育成会



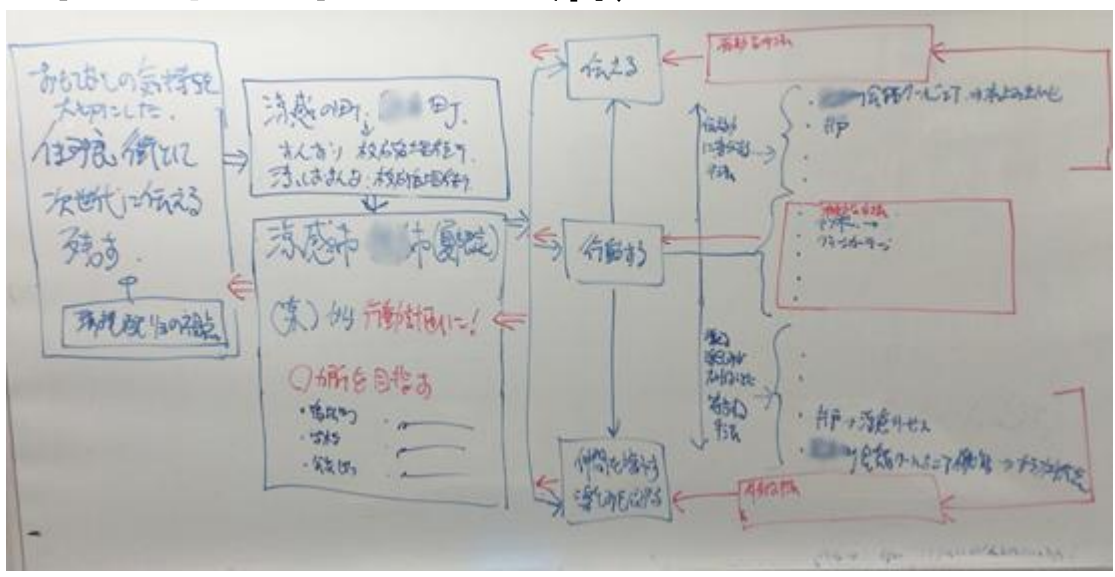
V 豊岡市に求められる「みんなで未来を考える」地域づくり

(1) 合意形成 「話し合い」の見える化

■話し合いのやり方を変える



■ホワイトボードの活用



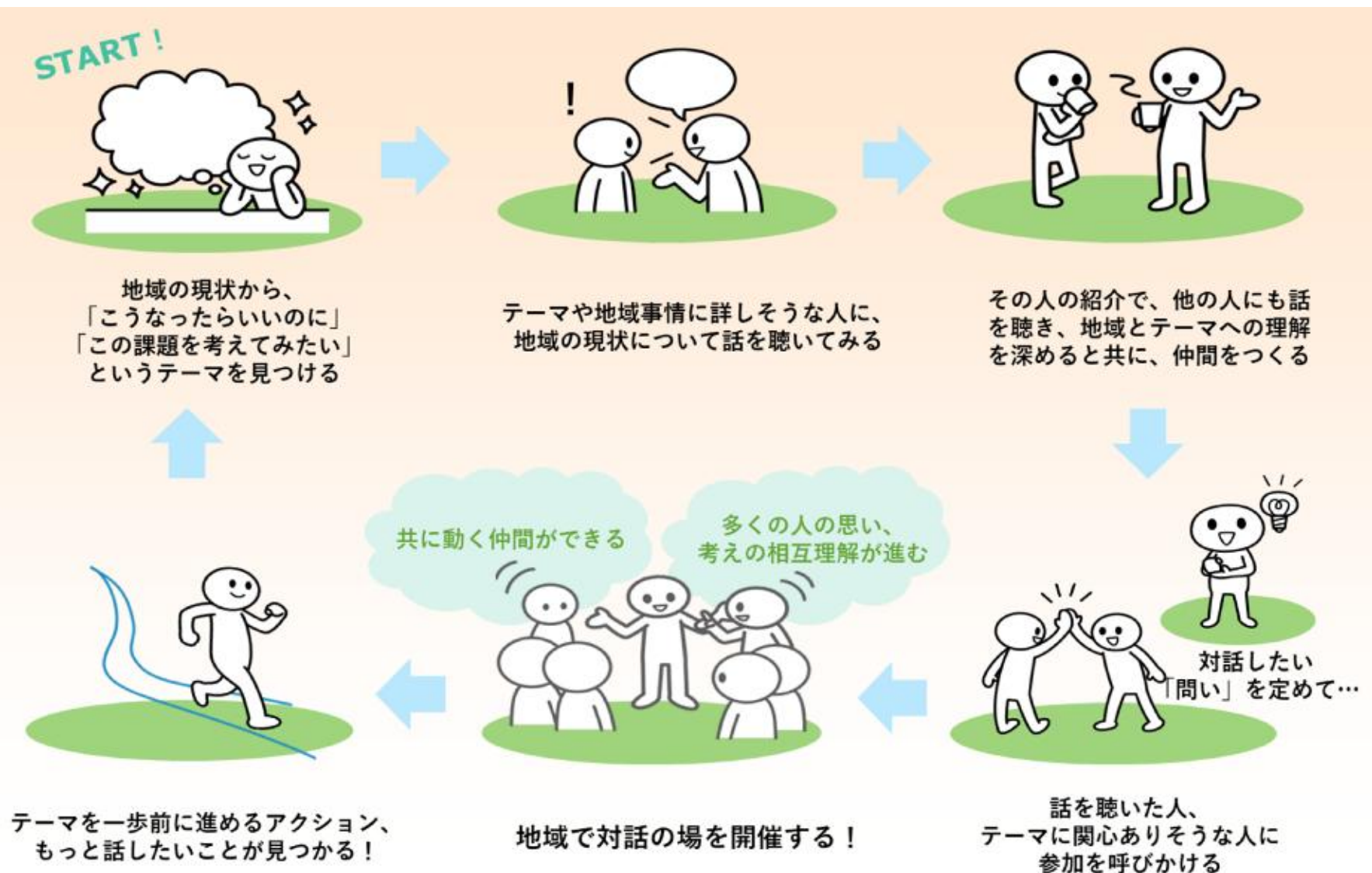
■ICTの活用



＜ポイント＞
中高年男性が苦手なことを標準化
(例)
×アルコール
×携帯電話
×長い話

まずは、「腕組み」「足組み」をやめることから始める！

(2) 話し合い「議論」から「対話」へ、そして「共感」



(長野まちむら寄り添いファシリテーターwebより転載)

次世代地域へのフロントランナー
長野県まちむら寄り添いファシリテーターとをえよう

公開講座
申込無料

**孤立や分断を超えて、
人をつなぐ対話の力を
地域づくりで活かすには？**

2025/ 8/8 金 18:30-20:30 オンライン開催

いま、持続可能な地域づくりには「対話」が求められています。
「違い」が孤立や分断とならないように、考えの違う人の声にも耳を傾け、
様々な思いの人と共に考える「対話」の力を改めて考えてみませんか？
本講座では、地域の現場に寄り添い、多彩な場づくりを進めてきた
「長野県まちむら寄り添いファシリテーター」の実践にふれながら、
地域の人とつながる力を活かす、これからの地域づくりを考えます。

【プログラム】

1. 孤立と分断の広がる時代に、改めて考えたい、寄り添う対話とは？
2. 対話や場づくりを地域で実践するには？
～まちむら寄り添いファシリテーターの実践経験をヒントに考えよう～
3. 対話の力を、長野県の地域づくりに応じ、活かせるには？

【ナビゲーター】

広田 和昭
鶴岡エリカ（アソシエイト）

新 藤太
東京大学大学院工学系研究科特任助教

船本 成彰
「一町」つながりのデザイン代表理事
長野県まちむら寄り添いファシリテーター
養成講座修了生

未来へつなぐ「人づくり」応援事業

津屋崎プランチ代表・
山口寛氏による対話型講演会

すべてのまちづ
くりは、「対話」
からはじまる。

日時・会場
8/25 日 男鹿市民文化会館
14:00～16:00・受付13時30分～

先見えなこの時代。過去の考え方にとらわれすぎて
いませんか？まちづくりにおいて大切なことは「みんな
で話し合って決める」こと。世代も立場も価値観も違う
人たちが、一緒に「対話」による新しい時代の新しいまち
づくりの方法」について対話してみませんか？

どなたでも参加OK！
～テーマ～
**対話で創る
地域づくり・
組織づくり**
中津玉の皆さん申し込みお待ちしております！

(3) 情報共有 まずはスマホの活用

■回覧板の電子化

電子回覧板のイメージ

00:00 5G 85%
← ○○自治会2023年回覧板

○○自治会 2023年 回覧 第7号

自治会費後期分の納入・赤い羽根共同募金 秋祭り 焼き芋交流会・デジタル防災訓練(安否確認)実施・○○校区防災訓練・鉄道高架事業についてなど。

添付の回覧 第7号.pdfを開く

ここをタップすれば、
紙と同じ内容の資料が見られる

柏原6.7丁目町内会
公式アカウント始めました

LINE 電子回覧板 スタート!!

もっと楽しく便利な町内会を！
地元の最新情報・回覧板・災害情報
こどもイベント・夏祭りなど
いつでも携帯で確認できます！

こちらから友達登録を
お願いします。

QRコードを読み取るか
上記のIDを検索していただき、
友達追加をお願いします。

LINEによる電子回覧板の例

自治会 町内会でも 「PayPay」が 導入可能に!

会費の集金
自治会によるイベント

QRコードを読み取るか
上記のIDを検索していただき、
友達追加をお願いします。

(5) 「むらの減築」

【支援者向け】 **京都府「むらの減築」**
「むらの減築」ワークショップ運営マニュアル

令和5年3月 Ver.3.0

京都府 農林水産部 農村振興課



軽減・見直しの考え方（例）

今のうちから
「見直したいこと」
「話し合い、変えていくこと」

可否は今後の役場や区の役員会での協議や合意形成が必要ですが…

例①「役」の**共同化**

- 他の集落で共同で役を担う（2集落で1人など）
- その際、負担増加の可能性があることに留意（回る範囲が増える等）し、共同にした方が効率的かどうかも踏まえる。

例②「役」の**活動内容そのものの見直し**

- 共同作業の見直しと同じように、活動を組み合わせる、方法を変えるなどで負担を減らす（会議の回数を減らす、資料配布を減らす等）

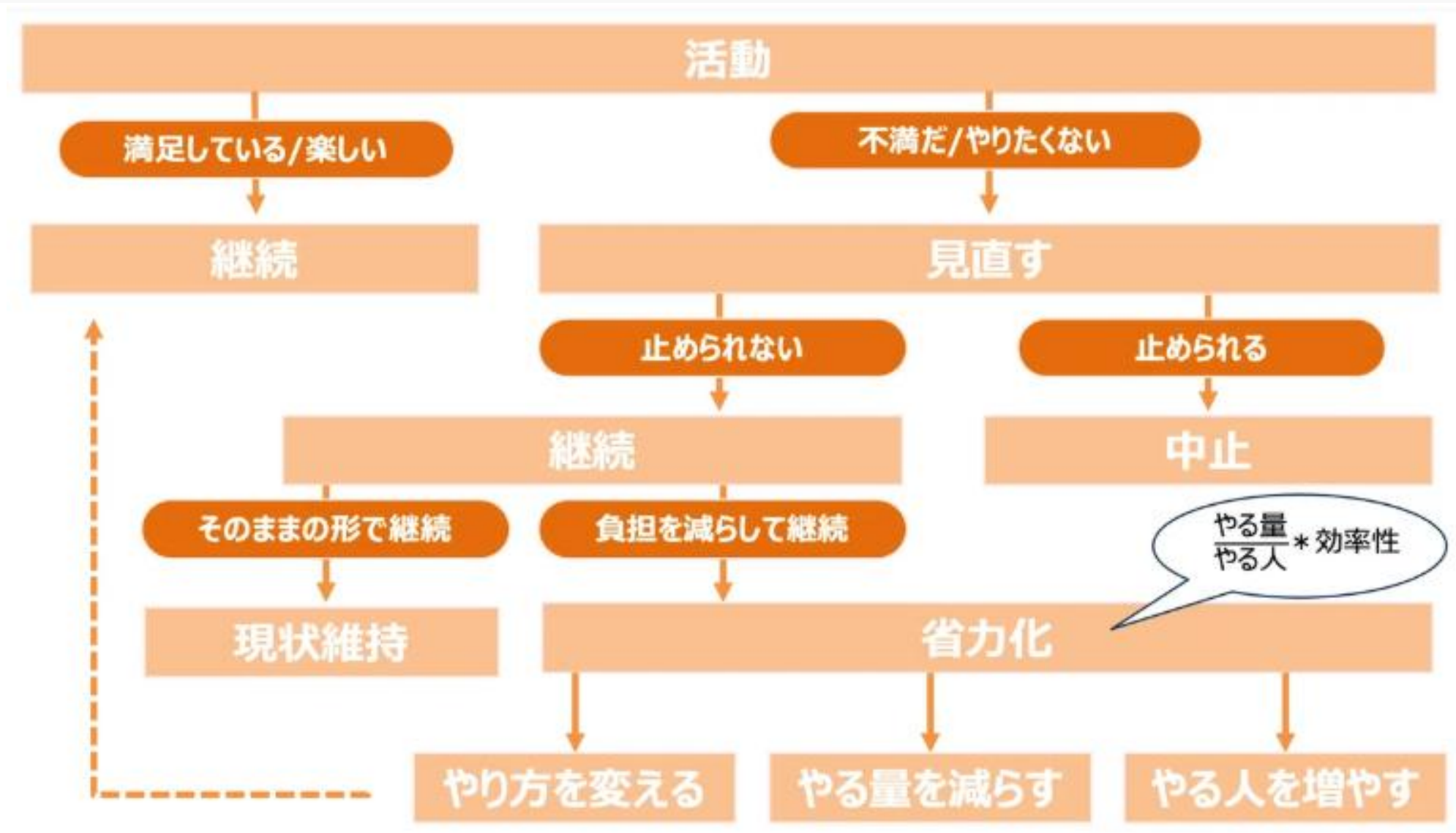
例③「役」がなくても**目的達成できる方法に替える**

- 特定の「役」の人でなくてもできることを、住民が少しずつ分担する（福祉委員の見守り：毎朝各戸玄関に目印に掲出→ご近所が声かけ）

例④ 区に必要な**「役」はやめる**

- すでにほとんど活動がない役は、他の役にまとめる
- 行政からの依頼の場合、行政で統合・見直しを行う

(5) むらの減築 地域の現状をセルフチェック



VI おわりに

広島市基町アパート6コア自治会長：ものすごく参考になる



【基町アパート】29歳自治会長が「変わる基町」でめざす街の
<https://www.youtube.com/watch?v=JncZgZHw6D4>

自治会(町内会)とは

同じ地域に住む人たちが
相互の親睦を図りながら
さまざまな活動を行うことで
自分たちの地域を
住みよいまちにしていくための
自主的な任意の団体

※広島市HPより

板井三那子さん

2019年から基町高層アパートに住み始め、
2022年より自治会長を務める。現在、広
島市立大学大学院の博士後期課程に在籍
しながらアーティストとして活動。人の
記憶をテーマに、自治会長経験などを活
かした作品制作や地域のアートプロジェ
クトなどに取り組んでいる。

但東町資母地区西野々集落：12世帯 人口28人

住民が笑顔で住み続ける



「不便だと思ったことは一度もありません」
「みんなが力を合わせてできることは、する。できないことは、縮小する。ただ、それだけです」

